

北陸地方整備局入札監視委員会（第一部会第2回定例会議） 審議概要

開催日 及び場所	令和元年 9 月 2 5 日（水） 北陸地方整備局（新潟市中央区美咲町1-1-1）					
委員 (部会委員 5 名)	部 会 長 大川 秀雄（新潟工科大学 学長） 部会長代理 細山田得三（長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻） 委 員 上村 都（新潟大学 法学部 教授）【欠席】 委 員 佐藤 綾子（富山国際大学 現代社会学部 准教授） 委 員 平石 広佳（弁護士） 【欠席】					
審 議 対象期間	平成 3 1 年 4 月 1 日～令和元年 6 月 3 0 日					
報告事項	1 入札・契約手続の運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 入札談合に関する情報等への対応状況 (4) 再度入札における一位不調状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 一者応札の発生状況 (7) 不調・不落の発生状況 (8) 高落札率の発生状況 (9) 有資格業者登録状況					
審議事項	2 抽出事案 8 件（工事 5 件、建設コンサルタント業務等 2 件、役務及び物品 1 件）					
	契約方式	件 名	契約業者名	契約年月日	契約金額 (千円)	入札 者数
工 事	一般競争入札方式（政府 調達に関する協定適用対 象工事以外）	平成 3 1 ・ 3 2 年度糸魚川管内維 持工事	（株）笠原建設	H31. 4. 1	222, 480	1
		大島地区河道掘削その 6 工事	丸運建設（株）	H31. 4. 22	239, 220	12
		大石西山排水トンネルその 4 工事	会津土建（株）	H31. 4. 22	255, 960	1
		屋島築堤光ケーブル迂回敷設工事	丸登電業（株）	R1. 5. 30	23, 100	2
	随意契約方式	輪島税務署庁舎（1 9）増築電気 設備工事	（株）島野電機商会	R1. 5. 13	41, 800	2
建設コンサル tant業務等	一般競争入札方式 （総合評価落札方式）	平成 3 1 ・ 3 2 年度富山河川国道 事務所（河川事業）積算技術業務	（株）建設マネジメント 北陸	H31. 4. 1	65, 448	1
	簡易公募型プロポーザル 方式	平成 3 1 年度大河津分水路現場事 業監理支援業務	（一社）北陸地域づくり 協会	H31. 4. 1	48. 060	1
役務の提供等及 び物品の製造等	一般競争入札方式	平成 3 1 ～ 3 5 年度黒部河川事務 所外 4 箇所機械警備業務	富山県総合警備保障 （株）	H31. 4. 1	5, 391	2
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
（備 考）	次回定例会議を令和元年 1 2 月 6 日（金）に決定					

意見・質問	回答
1 入札・契約手続きの運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 ・建設コンサルタント業務等一覧を見ると、個別名になるが、建設マネジメント北陸が50件以上かつ1社応札で落札しているケースが多いが、これらの業務は、競争が発生しにくい状況にあるのか、背景について教えて頂きたい。 ・建設コンサルタント業務等一覧の総括表に1社応札の数字がでているが、昨年は第1四半期が48.5%で今年が46.7%ということで、第1四半期だけ多くなる傾向にあるのではないかと。 また、46.7%で約半分と件数が多いが、多くの者に参加していただきたいと思うが、あまり改善していない状況である。この辺は何かつかんでいるのか。	・平成22年から発注者支援業務として、民間の活力を導入した、「市場化テスト」を導入している。 「市場化テスト」の導入により、入札要件の緩和や、国債業務による複数年契約を実施し、民間企業がより参入できるようにしてきた。 その結果、工事監督や調査計画資料作成は、複数名参加している。 工事監督や調査設計資料作成は、年間通して業務量が一定で民間参入が進んでいるが、それ以外の公物管理等は、業務量に波があり、多くの人員が必要なことから民間参入が進んでいない傾向がある。そのため、1者応札となっていると思われる。 ・1者応札の割合で見ると、発注者支援業務とプロポーザルでの業務で比率が高い。 今回は第1四半期であり、発注者支援業務の2から3年国債業務の新規発注件数が多くなっている。 プロポーザル業務は、継続的な業務で1者応札が比較的多くなっている。やはり1回業務を受注すると現場条件や業務内容に精通し、次回以降1者応札が多くなるものと思われる。
(2) 指名停止等の運用状況 ・特になし。	
(3) 入札談合に関する情報等への対応状況 ・談合情報が1件あったという報告だが、どのような調査をしたのか。	・今回のケースで申し上げると、談合が行われたという詳細な情報はございませんでした。 たとえば、その人しか知らないような情報があれば、それにそった事情聴取を行います。
(4) 再度入札における一位不動状況 ・特になし。	

意 見 ・ 質 問	回 答
(5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ・ 低入が2年振りに発生したということだが、低入調査の結果、落札したということか。 ・ 落札したということは、調査基準価格を下回っても、取れるってことが分かったわけで、予定価格が高いのではないか、また、それに伴い積算の見直しを行うことはないのか。	・ そうである。 ・ 今回の場合は、落札率は8割くらいだが、たとえば半分でやれるかといえば、おそらく厳しいと思うが、そこは会社として、たとえば赤字になっても品質を確保して頂くということだと思うので、積算を見直すということは考えていない。
(6) 一者応札の発生状況 ・ 特になし。	
(7) 不調・不落の発生状況 ・ 特になし。	
(8) 高落札率の発生状況 ・ 特になし。	
(9) 有資格業者登録状況 ・ 特になし。	

意見・質問	回答
2 抽出事案の審議について (工 事) 1 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外) 「平成31・32年度糸魚川管内維持工事」 ・維持修繕ということで、保守的な作業内容も含まれていると思うが、前の年度から継続的にあるようなものなので、同じ相手方が取られたのか。	・受注者は、過去と同じ者が取っている。
「大島地区河道掘削その6工事」 ・特になし。	
「大石西山排水トンネルその4工事」 ・特になし。	
「屋島築堤光ケーブル迂回敷設工事」 ・特になし。	
2 随意契約方式 「輪島税務署庁舎(19)増築電気設備工事」 ・電気工事としては、工期が長いように見えるが、これは増築を見ているから長いという理解でよろしいか。 ・今回確定申告の時期までに工事を終わらなければならないということで、時間的な制約の中で随意契約で行ったということで、ある種の緊急性があったということだと思う、一般的に緊急的な発注というときにそういう選択肢があるのか。たとえば災害時等には、こういうものがでてくるということで、理解すればよろしいか。	・工期については、工事が増築を行う工事と、それに伴い既存の庁舎を改修する工事があり、一度に施工できない状況にあるため、工期的には長くなっている。 ・災害の場合は、当然緊急性があるので、随意契約で実施ということになっている。

意見・質問	回答
(建設コンサルタント業務等) 1 一般競争入札方式 「平成31・32年度富山河川国道事務所(河川事業)積算技術」 ・特になし。	
2 簡易公募型プロポーザル方式 「平成31年度大河津分水路現場事業監理支援業務」 ・プロポーザル評価表に説得力という項目があるが、どのようなことを提案されているのか。	・この業務には、地元の調整や関係行政機関との調整が含まれている。プロポーザル方式で業者から提案を頂く中で、この内容であれば、たとえば、地元との調整や関係行政機関との調整において、我々の通常業務と同じような、価値観や、やり方を共有されているかどうかを提案の内容に説得力があるかを評価するということである。
(役務の提供等及び物品の製造等) 1 一般競争入札方式 「平成31～35年度黒部河川事務所外4箇所機械警備業務」 ・履行期間が平成31年から令和6年ということだが、設置した機械の耐用年数は、もっと長いと思うが、そういった場合、また、令和6年以降も同じところに、どういう契約になるか、どのように考えれば良いのか、背景等を教えて頂ければと思う。 ・予定価格の半値以下で落札しているが、設定の予定価格が、高いのではないかとも思えるが、見積もりをするときには、この箇所だけをやる、ということで見積もっているのか。	・警備機器は、やはり老朽化による動作不良がありそうなので、それらを見込んで履行期間を5年と設定している。もちろん5年以上もつかもしいないが、警備という性質上動作不良があってはいけないということで、5年という期間を設定したところである。 ・発注に際しては、資料の2ページ目にある履行箇所を明示して発注しており、途中から数を増やしたということはない。見積もりに関しては、積算基準がないので、見積書を徴収している。見積書を徴収するに当たっては、過年度の同業務と照らし合わせて、見積もりの価格等については妥当だと判断して発注したが、結果としては、落札時点で企業努力によって価格を抑えられたということだと推察している。